

2.12.9
1309

してゐるのだ。勇敢な我々の同志は凡ゆる圧迫にも屈せず猛烈に戦つて居るんだが斯うな如き状態にあるのは争議は皆ひ悉く苦闘を免れぬ。會社側が給料を仕拂けなかつたので争議資金も未だ一文も集まらぬ。サーバルとゴロツキ共は凡ゆる暴圧を怠らしてゐる。全支部の同志諸君

建鉄を勝たせるのは我々の力を更に一歩強めるのだと云ふことは諸君は誰よりもよく知つてゐる筈だ

至急お振金を送れ
常任忘振副士を送れ

一九二七、一、二六、関東全属労働組合争議団本部
府下三河島町 四八九梅津方東京建鉄四ヶ合工場争議団

寫

勞秘第三〇七四號

昭和二年十二月六日

警視總監 宮田光雄

内務大臣 鈴木喜三郎殿
社會局長 官殿
神奈川県知事 殿

東京建鉄會社下請工場労働争議ニ關スル件 (第三報)

要旨
争議團ニ集合スルニ新減工幹部結束ニ苦心ス
分工場主側ハ一致シテ飽迫強硬ナル態度ヲ執ルベク協定ス

一 経過